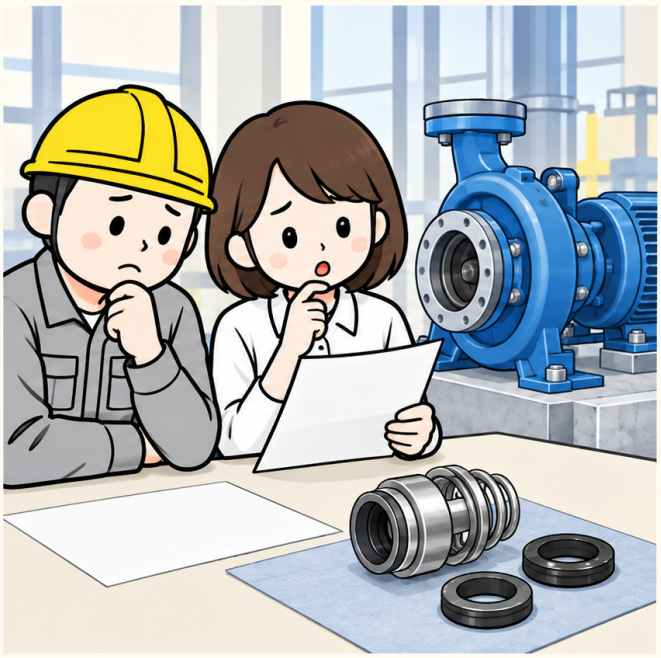
メカニカルシールの部品供給が止まったら

廃番だから、設備も交換？

部品の供給終了と、設備の更新判断を分けて考える。

部品が入らない…



現物・取付情報から相談へ



更新を決める前に、これを残す。

01

現物を保管

02

取付状態を記録

03

使用条件を共有

現物を捨てる前に、シールの相談を。

修理・再製作・交換の可能性を、状態と条件から個別に検討。

裏面：分解の前後に、残しておきたい情報 →

JIKUSEAL
ジクシール株式会社

0744-55-5873
jikuseal.com

分解の機会を、相談につなげる。

取り外す前後に、残したい情報。

01 現物と機器情報

使用済みシールや取り外した部品を保管。機器の銘板・メーカー・型式、シール全体と部品の写真、図面や過去の修理履歴を、分かる範囲でそろえます。

02 取付状態と分解の予定

取り外す前の全体・取付部分の写真や、既存図面を残します。分解の機会に採寸や確認が必要か、作業担当と相談先で先に調整します。現物の外形だけで決めません。

03 使われていた条件と症状

流体・温度・圧力・回転速度、漏れなどが始まった時期と変化を共有。材質や取付寸法、必要な確認事項を、機器側の条件と合わせて検討します。

分解の予定が分かったら、先に相談。

銘板・現物写真・図面・分解予定を、分かる範囲でお知らせください。
情報が全部そろっていなくても、確認の入口を整理できます。

修理・再製作の可否、費用、納期は現物と使用条件を確認して個別に検討します。

分解・採寸は安全な停止・隔離と現場の手順に従い、作業担当が実施してください。

参考：JIKUSEAL総合カタログ p.3／プラント保全 p.2／公式サイト「修理」

JIKUSEAL
ジクシール株式会社
0744-55-5873
jikuseal.com